

ようじえんだより 2019年度8月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

8月主題『ゆったりと』

主題聖句：あなたがたの救われたのは恵みによるのです。

エフェソの信徒への手紙 2章5節

☆ 0～2歳児：神さまやまわりの人に愛されていることを感じる。夏の生活の中でゆったりと過ごす。自分の思いをことばにしてもらって安心する。好きな遊びをじっくりと楽しむ。

☆ 3～5歳児：神さまの望まれる平和を共に考え、祈る。家族や保育者とゆったりと夏の生活をする。経験したことや、感じたこと、考えたことをことばや様々な方法で表現する。自然に親しんだり、様々な人と出会ったり、楽しい経験をする。

夏の思い出

十日町に来て8月も普通に仕事モードの生活になりましたが、前任地は幼稚園でしたので8月は何となく夏休みモードでした。普段は関わることが決して多くなかった我が子どもこの時とばかりにいろんなところに出かけました。故郷への帰省をはじめ、水族館のイルカショーを喜んでみたり、海水浴で水を怖がっていたり、花火大会も音を怖がり顔を全くあげなかったこと等、一つ一つが親にとっても良い思い出となっています。「あんな時もあつたなあ」と思いながら子どもが大きくなるのはあつという間であることを思われます。

子どもと付き合うことの煩わしさ

子どもと付き合うことは体力的には疲れることもあります。特に仕事でのストレスがある中で、子どもと一緒に遊ぶことや絵本の読み聞かせをすることがしんどい、というお話は何度も聞いたことがあります。確かそうです。遊びも読み聞かせも「もう一回」「もう一回」と何度もせがんでくるものですから、親としても疲れて「もういい加減にして！」と言いたくなる気持ちはよくわかります。

愛情を注ぐ行為

しかし前述したように、子どもと遊ぶ時間というのは本当に貴重な時間です。大きくなればなるほど、子どもと触れ合う時間は少なくなります。小学生高学年にもなると子どもの方から離れていき、中学高校になると部活の応援でもない限り、子どもとの関わりは本当に少なくなるものです。そして私のように高校卒業と同時に、もう一緒に住むこともない…というケースもあるわけです。そう思うと子どもと触れ合う時間というのは、本当に思いのほか短いのです。

そんな貴重な時間です。お金をかけなくてもいい。一大イベントでなくてもいい。少しでも共に楽しい時、ゆったりした時を共有した、と言える時間をもてることは親にとって生涯の宝物となります。一緒に遊ぶことや絵本の読み聞かせは、「愛情を注ぐこと」と同じことです。そして「愛情を注ぐこと」は「心を育てること」であり、ご飯を食べることや睡眠などと同じくらい大切なことです。疲れや煩わしさを感じた時も、我が子に「愛情を注ぐ時間」をどこかでとってあげることのできる8月でありますように…

園長：久保田愛策

年間主題『ことばに満たされて～ひびきあう～』

主題聖句：その人は流れのほとりに植えられた木。

旧約聖書 詩編1編3節